

2016年度決算および 中期経営計画の進捗について

2017年5月19日
日本軽金属ホールディングス株式会社

1. 2016年度連結決算

2. 中期経営計画の進捗

① 2017年度連結業績予想

② 3ヶ年計画遂行指針および進捗

1. 2016年度連結決算

2. 中期経営計画の進捗

① 2017年度連結業績予想

② 3ヶ年計画遂行指針および進捗

2016年度決算 — 前期比

(億円)

	2016年度 実績	2015年度 実績	増減
売上高	4,484	4,644	△160 (△3.5%)
営業利益	302	268	+34 (+12.7%)
経常利益	263	245	+18 (+7.0%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	195	155	+40 (+25.7%)
有利子負債	1,498	1,822	△324
D / E レシオ	0.9倍	1.4倍	△0.5p
R O C E	9.6%	9.0%	+0.6p

前期に対する利益増減要因

業績	要因
<p>牽引 (プラス)</p>	<p>厚板、電機・電子向け板材、自動車・輸送向け押出製品、 自動車向け二次合金(日、中、タイ、米)、トラック架装、 食品・クリーンルーム向けパネル</p>
	<p>新商品の上市・拡販</p>
	<p>原燃料価格の下落</p>
<p>減益 (マイナス)</p>	<p>太陽光関連、鉄鋼向け炭素製品不振</p>
	<p>持分法利益の減少、営業外費用の増加など</p>

セグメント情報 — 前期比

(億円)

	売上高			営業利益		
	2016年度 実績	2015年度 実績	増減	2016年度 実績	2015年度 実績	増減
アルミナ・化成品、 地 金	1,018	1,099	△81 (△7.3%)	101	91	+10 (+10.8%)
板、押出製品	982	1,033	△51 (△5.0%)	78	31	+47 (+154.3%)
加工製品、 関連事業	1,547	1,492	+55 (+3.7%)	102	110	△8 (△6.5%)
箔、粉末製品	937	1,020	△83 (△8.1%)	55	68	△13 (△19.8%)
管 理 ・ 共 通		—	—	△34	△32	△2
合 計	4,484	4,644	△160 (△3.5%)	302	268	+34 (+12.7%)

1. 2016年度連結決算

2. 中期経営計画の進捗

① 2017年度連結業績予想

② 3ヶ年計画遂行指針および進捗

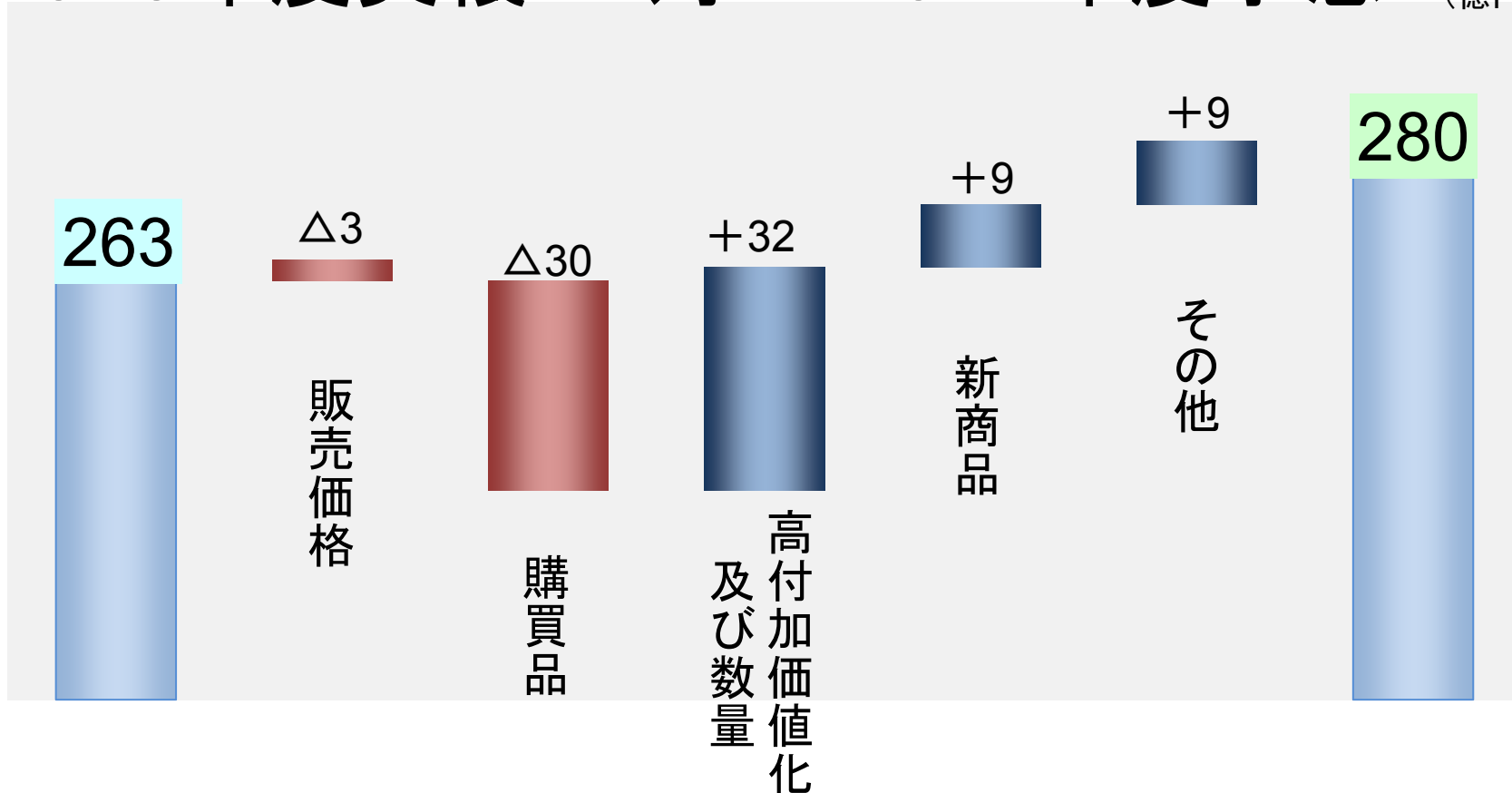
2017年度業績予想 ー前期比

(億円)

	2017年度 予想	2016年度 実績	増減
売上高	4,700	4,484	+216 (+4.8%)
営業利益	300	302	△2 (△0.7%)
経常利益	280	263	+17 (+6.7%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	180	195	△15 (△7.8%)
有利子負債	1,450	1,498	△48
D / E レシオ	0.8倍	0.9倍	△0.1p
R O C E	10.2%	9.6%	+0.6p

経常利益変化要因 - 前期比

2016年度実績 対 2017年度予想 (億円)



2016年度
実績

+17億円

2017年度
予想

前期に対する利益増減要因

業績	要因
<p>牽引 (プラス)</p>	<p>高付加価値品での利益拡大</p>
	<p>◇国内高付加価値化</p>
	<p>◇板事業の加工展開進展</p>
	<p>◇トラック架装事業の強化(厚木再構築、新潟加工新工場)</p>
	<p>◇新商品開発のベースとなる合金開発</p>
<p>減益 (マイナス)</p>	<p>新商品の上市・拡販</p>
	<p>原燃料価格の上昇</p>

顧客価値を生み出す高付加価値品で利益拡大

チーム日軽金で顧客満足を得る高付加価値化の実現

板事業

素材+プレス・表面処理

〈日軽金・東陽理化学研究所〉

トラック架装事業

素材+加工+組立

〈日本フルハーフ・日軽金アクト〉

二次合金事業

合金開発

〈日軽エムシーアルミ・日軽金〉



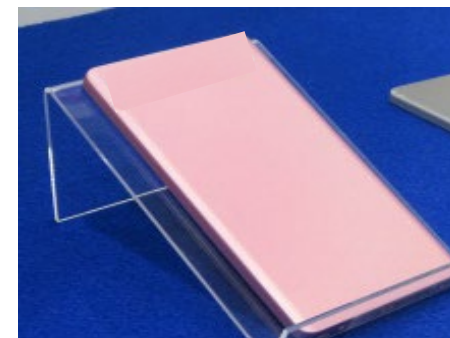
高品位パソコン筐体



温度管理車



連結トレーラー(全長21メートル)



光輝性アルマイト合金

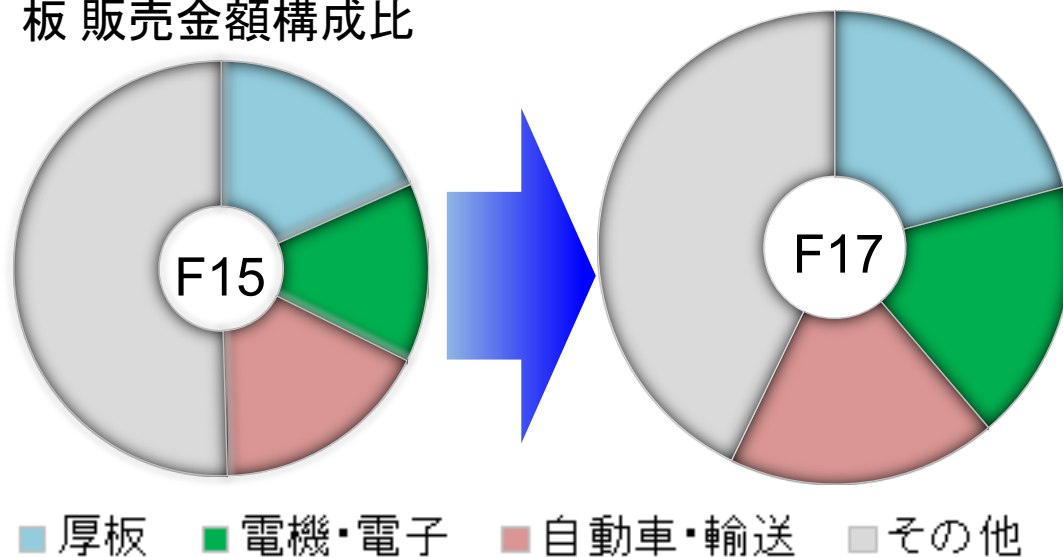
板事業をベースとした新しい事業展開

・高付加価値品へのシフト

- 厚板 : 生産性改善などにより需要増に対応
- 電機・電子 : 電池・PC筐体向け等の拡販
- 自動車・輸送 : 環境負荷低減表面処理材の拡販

・素材開発力+設計・加工技術による新しい顧客価値の提案 (板事業部・東陽理化学研究所コラボ)

板 販売金額構成比



リチウムイオン電池
角形ケース



クロムフリーカラーアルミ



高品位パソコン筐体

ダントツのトラック架装事業

素材・組立のフロー化（日本フルハーフ・日軽金アクト）

【現況】

- ・ 需要好調・顧客よりさらに増量要請
 - － フルハーフ厚木、アクト新潟フル操業
- ・ 生産能力不足
 - － 一部車種で長納期化

2016-2018は高水準を維持

- ・ 排気ガス規制(2003年)の買い替え需要
- ・ 燃料安で物流会社の投資意欲旺盛
- ・ 消費税増税駆け込み
- ・ 新排ガス規制
- ・ オリンピック・パラリンピック

【対策】

- ◇ 日軽金アクト
 - 新潟で架装部品の加工能力増強
- ◇ 日本フルハーフ
 - 厚木で塗装工場建設、組立て工程整流化
 - 上依知工場増設



厚木工場新塗装工場

⇒ 高付加価値＋生産能力増強

グループ連携で更に強化

きめ細やかな合金開発力による顧客満足への達成

【顧客の要望事項】

自動車、電機・電子分野に合致した合金開発

- ・耐熱・耐摩耗合金（自動車、電機・電子向け）
- ・高靱性合金（自動車向け）
- ・光輝性アルマイト合金（電機・電子向け） など

【チーム日軽金の強み】

他の加工事業部門との協業

- ⇒顧客ニーズに対する素材＋加工での提案
- ⇒各種課題に対する素材からの提案、解決

【広範な事業エリア】

拠点：日本、中国、タイ、北米（米国＋メキシコ）、インド

連携：ドイツメーカー（開発合金の生産ライセンスを取得）



開発合金採用例



開発合金採用例



開発合金採用例

更なる高付加価値化・・・海外拠点との協働

【国内市場展望】

- ・ 少子高齢化による需要減
- ・ 二極化（高機能高価値品、汎用品）

【当社グループの進む道と優位性】

- ・ 顧客価値につながる高機能化
- ・ チーム日軽金で顧客ニーズへ柔軟な対応

【課題と対策】

- ・ 足元は国内生産が高水準
 - ⇒ 海外調達を強化し国内余力を確保
 - ⇒ 輸入材＋国内加工＋ α で顧客価値を実現

輸入形材（技術指導）

形材加工

施工

お取引様

対象商材

（素材）板材、押出材

（製品）トレーラ、パネル製品、
自動車部品



目次

1. 2016年度連結決算

2. 中期経営計画の進捗

① 2017年度連結業績予想

② 3ヶ年計画遂行指針および進捗

<基本方針>

1. グループ連携による新商品・新ビジネスモデルの創出

- グループ連携の強みを徹底的に追求した高付加価値を提供
- 顧客視点に基づき、ものづくりに周辺サービスを含めた商品・ビジネス開発

2. 地域別×分野別戦略による事業展開

- 資源投入する分野を地域と市場のマトリクスから選別
- ビジネスに応じ自由自在に集合・離散できる俊敏な組織運営

3. 企業体質強化（事業基盤強化）

- グループ連携視点でビジネス創生できる人財の育成
- 課題事業の収益向上

2016年度における主な進捗

<基本方針>

1. グループ連携による新商品・新ビジネスモデルの創出
 - チーム日軽金による顧客価値の創造
 - 合金開発・加工展開進展
2. 地域別×分野別戦略による事業展開
 - マーケット主導による海外展開
 - トラック架装事業強化 日本フルハーフ・日軽金アクト(国内)
3. 企業体質強化（事業基盤強化）
 - 課題事業の収益改善
 - 財務体質改善

2016年度における主な進捗

<基本方針>

1. グループ連携による新商品・新ビジネスモデルの創出

- チーム日軽金による顧客価値の創造
- 合金開発・加工展開進展

2. 地域別×分野別戦略による事業展開

- マーケット主導による海外展開
- トラック架装事業強化 日本フルハーフ・日軽金アクト(国内)

3. 企業体質強化（事業基盤強化）

- 課題事業の収益改善
- 財務体質改善

主な新商品

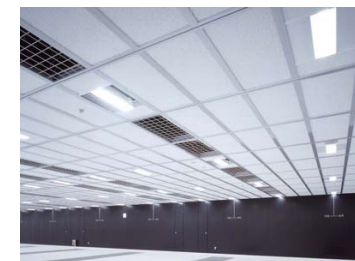
分野	事業部門	製品
自動車	日軽金、日軽金アクト	EV・PHEV向けバッテリー冷却プレート
輸送	日本フルーフ、日軽金アクト、ニッケイ・サイアム(板)	10ドアバン、10ドアキット
電機電子 ・情報通信	東洋アルミニウム	LiB正極材
	日軽金、東陽理化学研究所	露光装置部材、PC筐体
環境・安全 ・エネルギー	日軽パネルシステム、日軽産業・日軽金アクト、NLMエカル	データセンター関連
	日本電極	LiB負極材
その他	日軽金	LiB向けローソーダアルミナ
	日軽産業、理研軽金属、日軽金	吸音機能付仕上材
	日軽パネルシステム、日軽金	ジェネスタ®不燃



10ドアバン



LiB負極材



データセンター関連

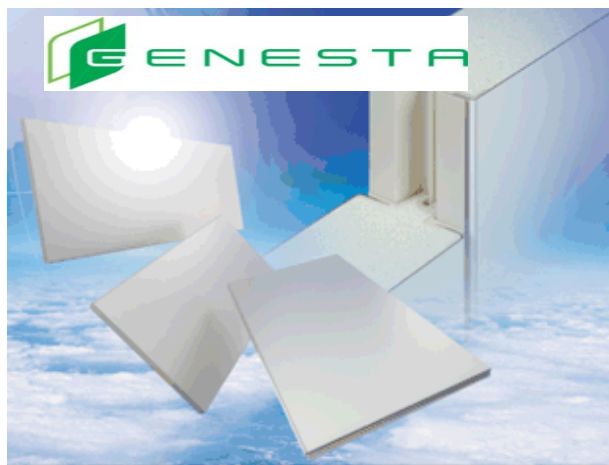
環境対応に先駆けた高付加価値商品開発力

食品(加工)工場・クリーンルーム分野 ノンフロン断熱不燃パネル

断熱・不燃・環境性能を追求した世界初*「ジェネスタ®不燃」

- ・ HFO(ハイドロフルオロオレフィン)使用
- ・ オゾン層破壊係数ゼロ・地球温暖化係数ほぼゼロ
- ノンフロン環境配慮型商品

* 注入発泡式金属サンドイッチパネルにおいて世界初の技術



ジェネスタ®不燃を使用した食品工場

日軽パネルシステム

日本軽金属

巾広いグループ商材で顧客ニーズを先取り

リチウムイオン電池関連材料

【市場動向】

- ・ 車載用需要拡大
- ・ スマートフォンやタブレット型端末機の需要拡大

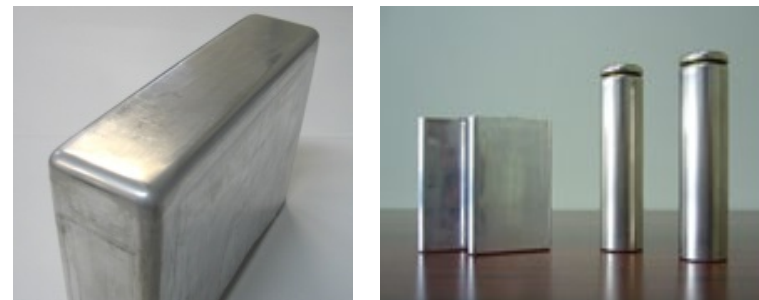
【顧客の要望事項】

- ・ 軽量、通電性、加工性、安全性
- ・ 表面抵抗の低減、密着性向上

【チーム日軽金の強み】

- ・ 素材から加工品まで機能提供

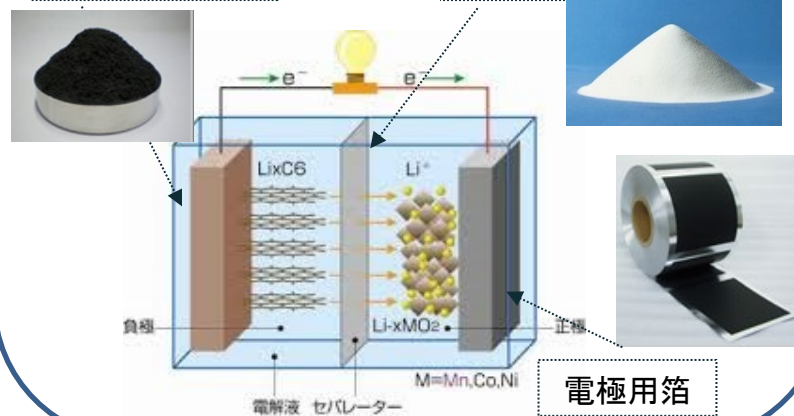
グループ商材



角形ケース・円筒ケース

負極材

アルミナ



日本軽金属

東洋アルミニウム

日軽金アクト

日本電極

素材からユニット組立販売で価値創造

自動車分野 EV・PHEV向けバッテリー冷却プレート

【顧客の要望事項】

- ・ 省エネ化
- ・ 高性能化

合金



加工



接合



ユニット
組立

【チーム日軽金の強み】

- ・ 難形状・高精度押出
- ・ 機械加工技術
- ・ 歪みのない高周波接合（薄板）
- ・ 組立技術

最適設計・最適加工による最適製品化

業界初 音を制するアルミニウム

建築分野 吸音機能付き仕上材・天井材

【顧客の要望事項】

- ・ 快適な音環境(静寂)
- ・ 快適な会話環境

吸音機能
形材開発

製品
製造

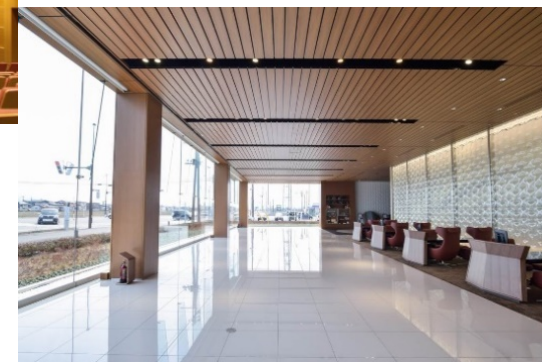
企画・販
売・施工

【チーム日軽金の強み】

- ・ 吸音材を使わない形材のみによる吸音設計技術
- ・ 不燃材料認定取得
- ・ 多様な表面仕上げ
- ・ 企画・エンジニアリング・施工機能



大学ホール



高級車販売店舗

日軽産業

理研軽金属

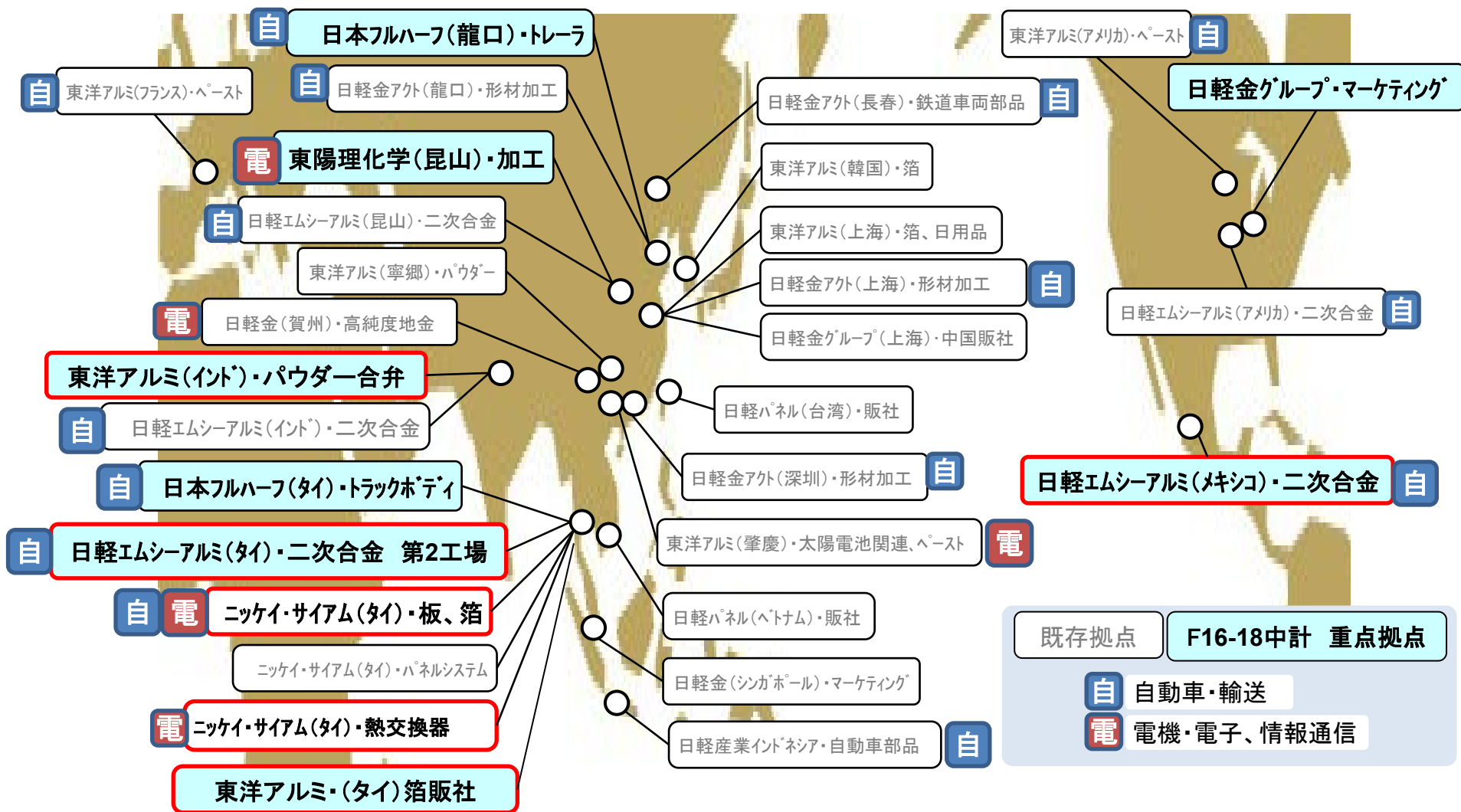
日本軽金属

初年度における主な進捗

<基本方針>

1. グループ連携による新商品・新ビジネスモデルの創出
 - チーム日軽金による顧客価値の創造
 - 合金開発・加工展開進展
2. 地域別×分野別戦略による事業展開
 - マーケット主導による海外展開
 - **トラック架装事業強化 日本フルハーフ・日軽金アクト(国内)**
3. 企業体質強化（事業基盤強化）
 - 課題事業の収益改善
 - 財務体質改善

海外 × 各分野における事業展開



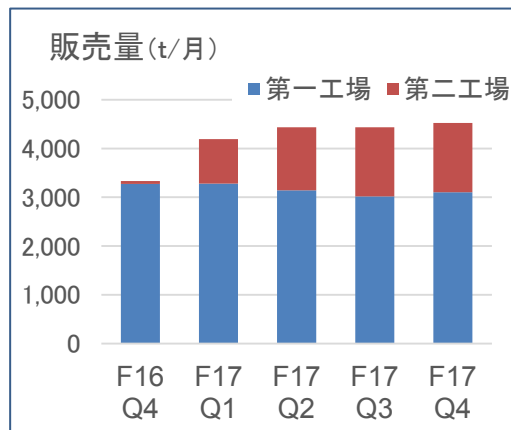
新規設立・事業拡大

日軽エムシーアルミ タイ第2工場

生産開始 2017年3月
 生産能力 18,000t/年

- 早期にフル稼働へ
- 顧客ニーズに対応した製品供給
- 収益力向上

自動車分野



東洋アルミニウム インド生産販売拠点 パウダー・ペースト分野

目的 汎用塗料向けアルミペーストの生産販売
 ターゲット市場 インド、ASEAN、中東、アフリカ、南米等
 共同出資 東洋アルミ(74%)、MMP(26%)
 立地 インド共和国マハラシュトラ州ナグプール
 生産開始 2017年9月
 生産能力 2,200t/年



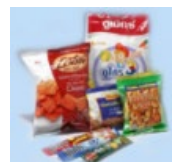
*完成イメージ図

収益改善

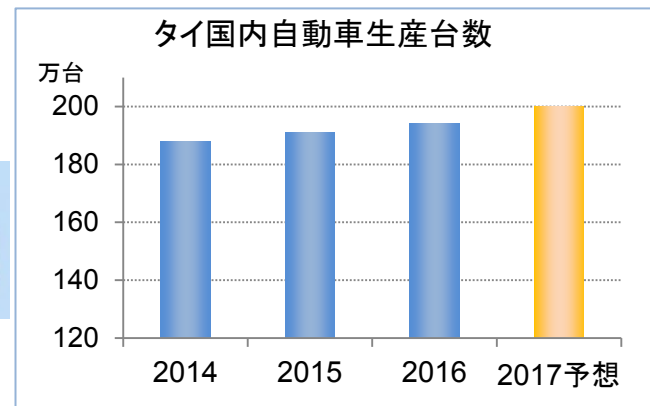
ニッケイサイアム(タイ) 板部門

業況 F15より黒字回復
F16は前年比大幅増益(自動車、箔販売数量増)

対策 高付加価値品、小ロット多品種対応、
QCD競争力強化
⇒差別化のための各種加工設備導入
東洋アルミとの協業による箔販売体制強化



自動車、電機・電子、食品他



<出所: タイ工業連盟自動車部会>

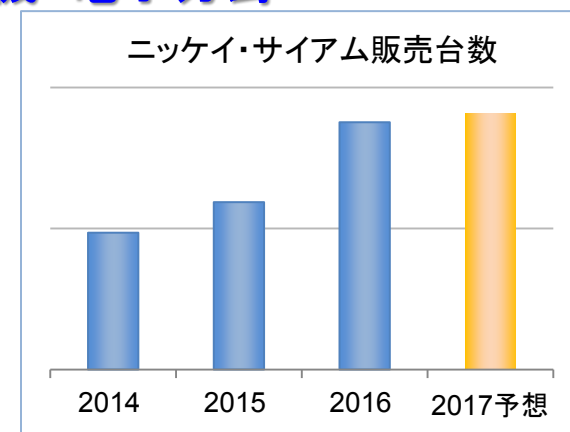
ニッケイサイアム(タイ) 熱交部門

業況 F15より黒字基調
F16は前年比大幅増益(採用機種拡大)

対策 更なる拡販、原価低減、品質安定化
⇒巾広い製品ラインナップを武器に
⇒生産能力増強投資も視野に



電機・電子分野



次の成長戦略

日軽エムシーアルミ メキシコ工場拡張

自動車分野

- ・メキシコ国内での合金需要は増加
- ・現有工場の隣地を取得し、インゴット工場建設を検討
- ・現有工場と合わせて60,000t/年の販売を目論む

稼働開始 2018年12月(計画)
 想定能力 31,200t/年



東洋アルミニウム タイ販社設立

自動車・食品他

名称 TOYAL (THAILAND) COMPANY LIMITED
 事業内容 箔・ペースト・ソーラー関連等の購入・販売・輸出入業務、ASEANでの市場情報の提供サービス業務
 設立年月日 2017年3月30日
 販売開始 2017年7月
 資本金 15百万バーツ(東洋アルミグループ100%出資)

～ニッケイ・サイアムのアルミ箔を拡販～



初年度における主な進捗

<基本方針>

1. グループ連携による新商品・新ビジネスモデルの創出
 - チーム日軽金による顧客価値の創造
 - 合金開発・加工展開進展
2. 地域別×分野別戦略による事業展開
 - マーケット主導による海外展開
 - トラック架装事業強化 日本フルハーフ・日軽金アクト(国内)
3. 企業体質強化（事業基盤強化）
 - 課題事業の収益改善
 - 財務体質改善

課題事業の収益改善

〈改善途上〉

日本軽金属

化成品事業

(現況) F16は収益改善、F17は原燃料価格上昇で苦戦を予想

(対策) アルミナ価格改定

新規製品の早期上市と高付加価値製品の拡販



ソンリンフルーフ(中国)

トレーラ・トラック架装事業

(現況) CY16は収益改善だが、依然赤字

(対策) 過積載規制強化に商機

ウイングキットビジネス(フィリピン)、新商品投入(ハイリフトウイング)、販売代理店網の整備



フルーフマハジャック(タイ)

トラック架装事業

(現況) タイ経済回復遅れで苦戦

(対策) 商品開発(10ドア車・温度管理車・ピックアップトラック改良)、

販売ネットワーク拡大、ニッケイ・サイアム(パネル)との協業



ニッケイ・サイアム(タイ)

パネル事業

(現況) ベトナム拠点の受注増加で改善傾向

(対策) 生産性改善、フルーフマハジャックとの協業



主要指標

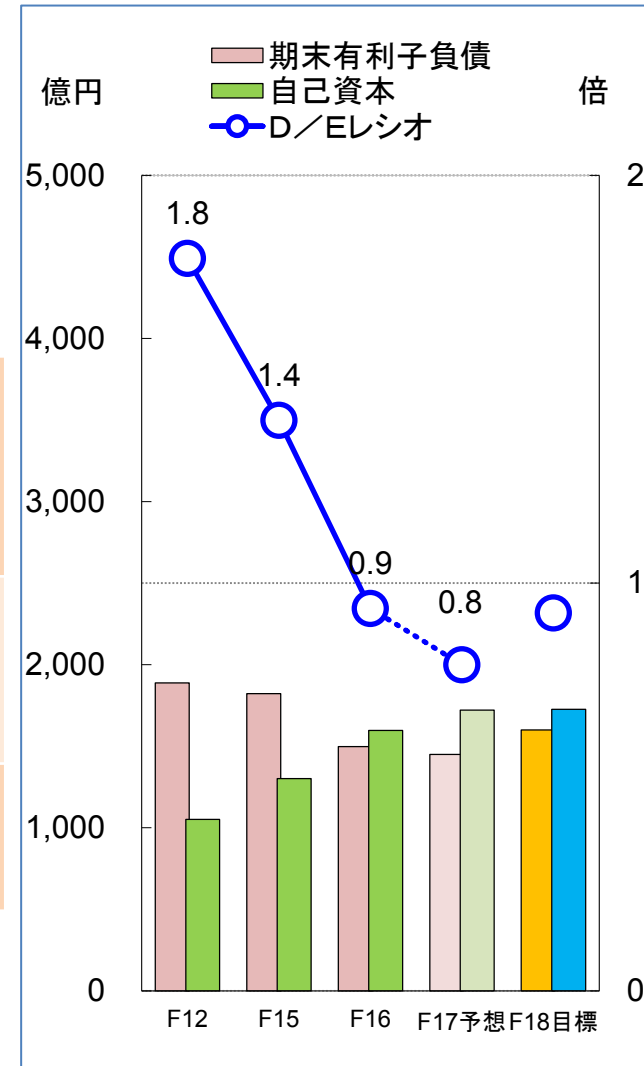
(億円)

	2015年度	2016年度	2017年度 予想	2018年度 中計目標
売上高	4,644	4,484	4,700	5,000
営業利益	268	302	300	320
経常利益	245	263	280	310
親会社株主に帰属する 当期純利益	155	195	180	200
有利子負債	1,822	1,498	1,450	1,600
D / E レシオ	1.4倍	0.9倍	0.8倍	1.0倍以下
R O C E	9.0%	9.6%	10.2%	10.0%超
1株当たり配当	6円	8円	8円	早期に7円以上

財務体質改善

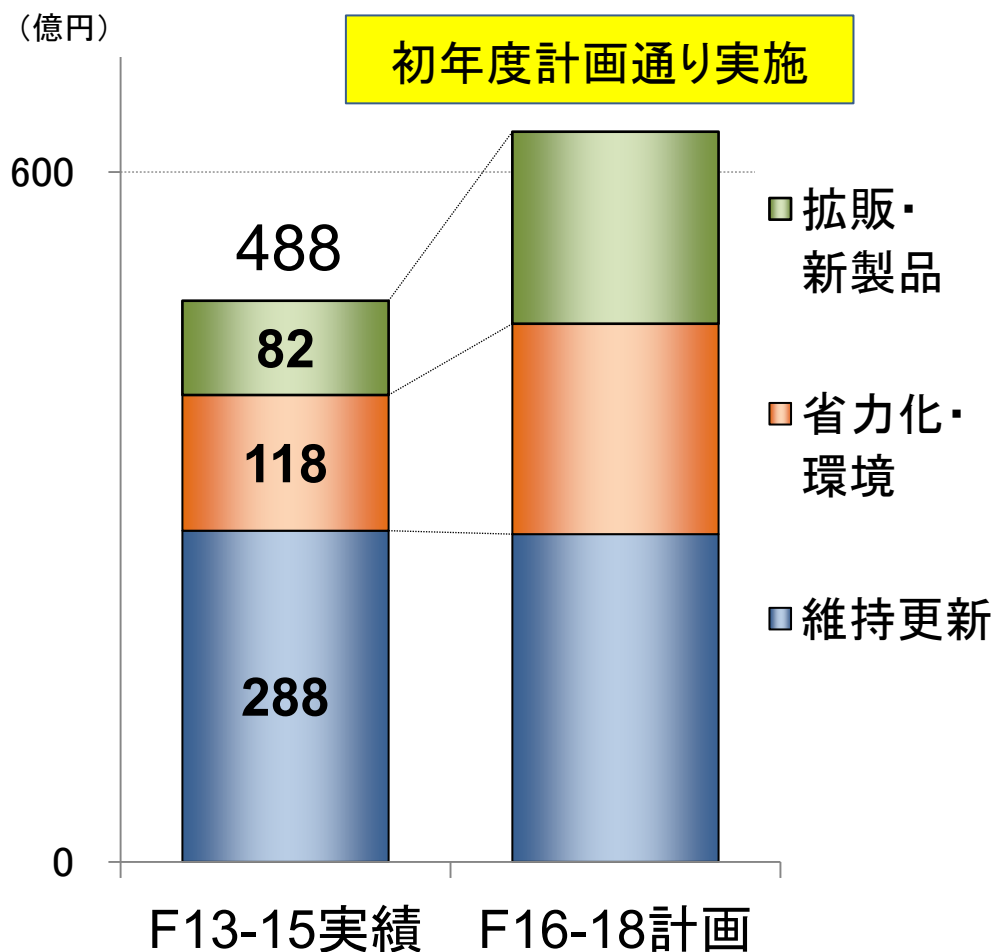
F18 中計目標をF16で達成済

	F12 実績	F16 実績	F17 予想	F18 目標
有利子負債 (億円)	1,888	1,498	1,450	1,600
D/Eレシオ (倍)	1.8	0.9	0.8	1.0以下
1株当たり 配当金(円)	3.0	8.0	8.0	早期に 7.0以上



積極的な設備投資

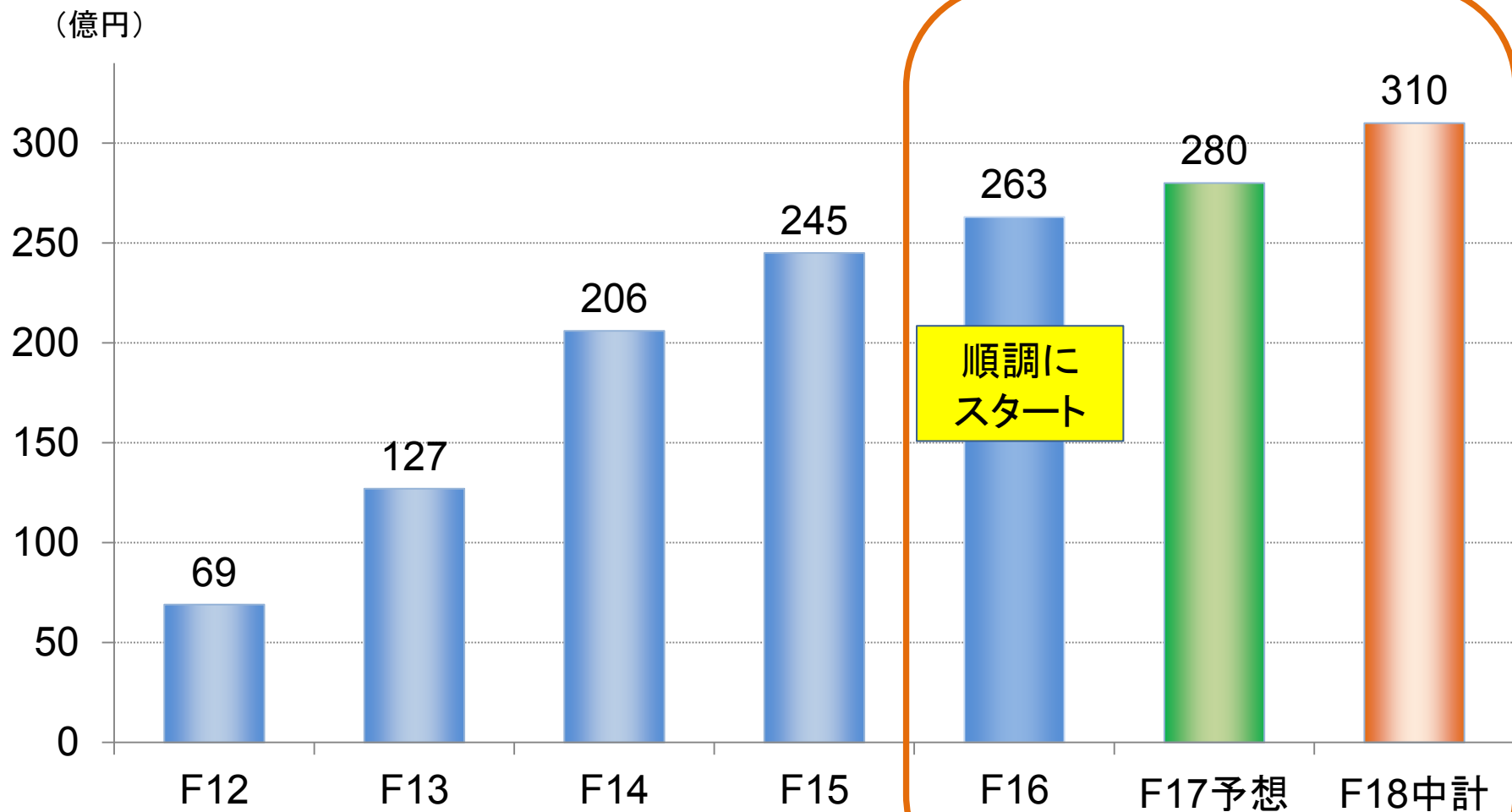
3年間で600億円超の設備投資（追加の戦略投資も検討）



主な大型投資案件

- ・日本フルハーフ
厚木再構築
サービス事業
- ・日軽エムシーアルミ
タイ第2工場
米国・メキシコ事業拡大
- ・日軽金アクト
新潟加工工場
- ・日本軽金属
電力設備更新

経常利益推移





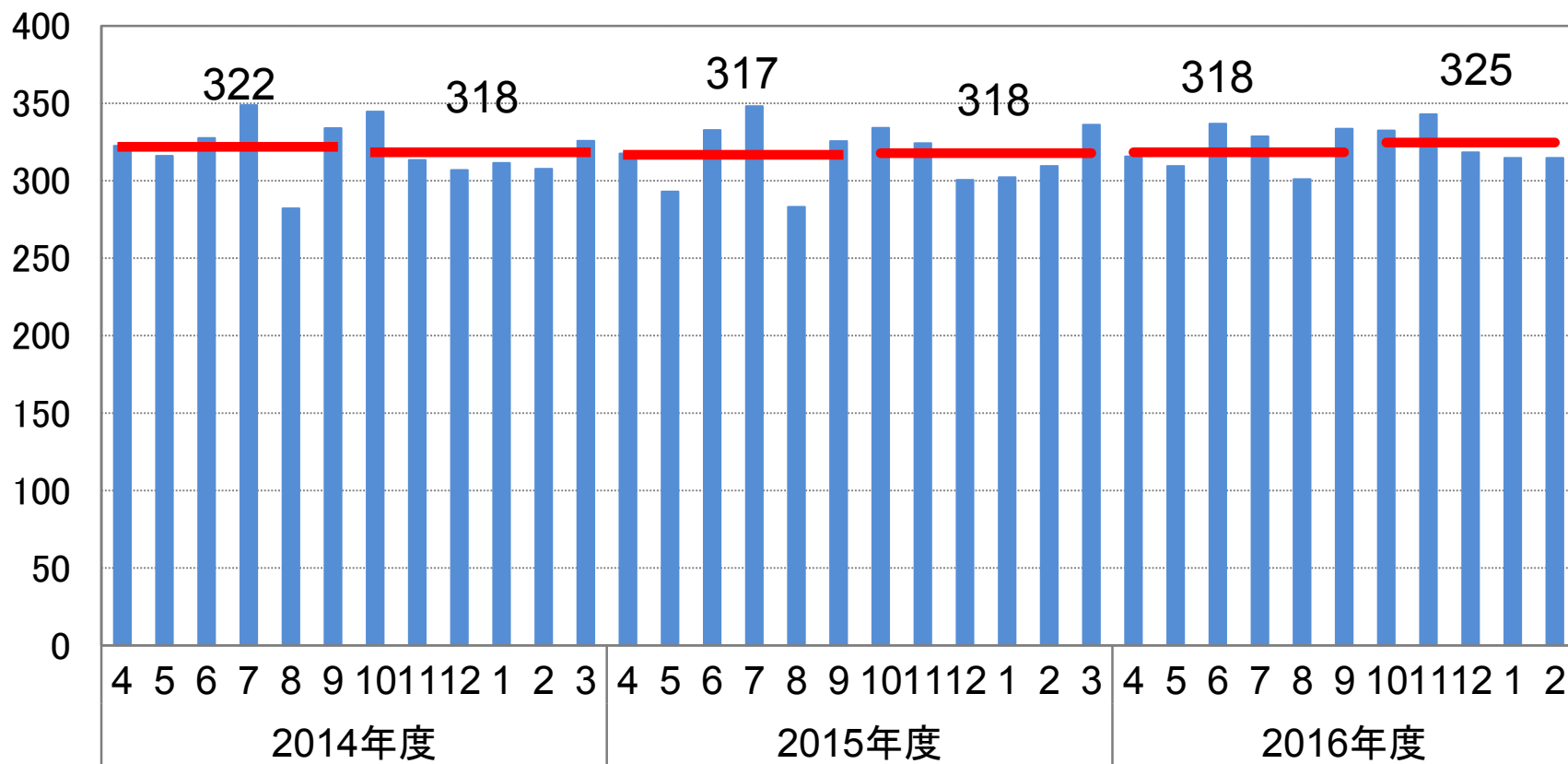
本資料についての注意事項

1. 本資料は2018年3月期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与える重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
3. 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
4. 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

補足資料

国内アルミ製品総需要の推移

(千トン)



<出所:日本アルミニウム協会>

主要会社の業績 — 前期比

(億円)

	2016年度 実績			2015年度 実績		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属 (単体)	1,263	59	95	1,353	34	53
東洋アルミニウム (連結)	942	55	56	1,025	68	64
日軽エムシーアルミ (連結)	554	25	27	591	20	18
日本フルハーフ (連結)	668	36	35	610	31	28
日軽金アクト (連結)	433	25	26	440	17	19

2016年度決算 — 期初予想比

(億円)

	2016年度 実績	2016年度 期初予想	増減
売上高	4,484	4,550	△66 (△1.5%)
営業利益	302	270	+32 (+11.9%)
経常利益	263	250	+13 (+5.0%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	195	160	+35 (+22.0%)
有利子負債	1,498	1,780	△282

セグメント情報 — 期初予想比

(億円)

	売上高			営業利益		
	2016年度 実績	2016年度 期初予想	増減	2016年度 実績	2016年度 期初予想	増減
アルミナ・化成品、 地 金	1,018	1,020	△2 (△0.2%)	101	75	+26 (+35.0%)
板、押出製品	982	1,000	+18 (+1.8%)	78	55	+23 (+43.6%)
加工製品、 関連事業	1,547	1,530	+17 (+1.1%)	102	100	+2 (+2.5%)
箔、粉末製品	937	1,000	△63 (△6.3%)	55	70	△15 (△21.7%)
管 理 ・ 共 通		—	—	△34	△30	△4
合 計	4,484	4,550	△66 (△1.5%)	302	270	+32 (+11.9%)

経常利益 — 前期比・期初予想比

(億円)

	2016年度 実績	2015年度 実績	前年同期比	2016年度 期初予想	期初予想比
経常利益	263	245	+18	250	+13

(億円)

前期比 +18億円 の内訳	
営業利益の増加	+34
為替差損の減少	+4
持分法利益の減少	△9
その他	△11

(億円)

期初予想比 +13億円 の内訳	
営業利益の増加	+32
為替差損益の悪化	△7
持分法利益の減少	△6
その他	△6

親会社株主に帰属する当期純利益 — 前期比・期初予想比

(億円)

	2016年度 実績	2015年度 実績	前年同期比	2016年度 期初予想	期初予想比
親会社株主に帰属する 当期純利益	195	155	+40	160	+35

(億円)

前期比 +40億円 の内訳	
経常利益の増加	+18
特別利益の増加	+32
特別損失の増加	△2
税金費用の増加	△8

(億円)

期初予想比 +35億円 の内訳	
経常利益の増加	+13
特別利益の増加	+26
特別損失の増加	△6
税金費用の増加	△8
非支配株主に帰属する 当期純利益の減少	+10

主要会社の業績 — 期初予想比

(億円)

	2016年度 実績			2016年度 期初予想		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属 (単体)	1,263	59	95	1,267	28	49
東洋アルミニウム (連結)	942	55	56	1,005	71	73
日軽エムシーアルミ (連結)	554	25	27	550	15	15
日本フルハーフ (連結)	668	36	35	613	29	28
日軽金アクト (連結)	433	25	26	435	19	22

設備投資・減価償却費 — 前期比

(億円)

	設備投資			減価償却費		
	2016年度 実績	2015年度 実績	増減	2016年度 実績	2015年度 実績	増減
アルミナ・化成品、地金	42	29	+13	37	36	+1
板、押出製品	54	60	△6	50	49	+1
加工製品、関連事業	63	55	+8	38	38	±0
箔、粉末製品	40	45	△5	41	41	±0
合 計	199	189	+10	166	164	+2

キャッシュ・フロー計算書

2016年度

<源泉>

<使途>

営業活動による キャッシュ・フロー(※1) 365億円	設備投資等 119億円 (※2)
資金調達 186億円	約定弁済等 378億円
現金・同等物の減少 2億円	配当金の支払い 56億円

(※1)
 税引前当期純利益 283
 減価償却費 166
 運転資金 △11
 法人税他 △70

(※2)
 有形固定資産取得 170
 有形固定資産売却 △21
 投資有価証券売却 △33

2015年度

<源泉>

<使途>

営業活動による キャッシュ・フロー(※1) 378億円	設備投資等 194億円 (※2)
資金調達 289億円	約定弁済等 370億円
	配当金の支払い 32億円
	現金・同等物の増加 71億円

(※1)
 税引前当期純利益 235
 減価償却費 164
 運転資金 43
 法人税他 △33

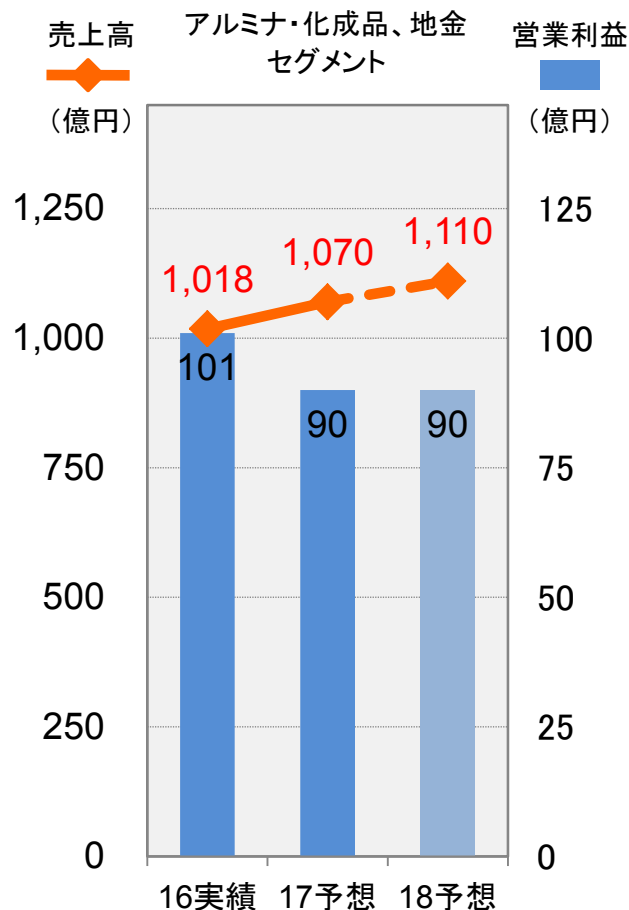
(※2)
 有形固定資産取得 191他

セグメント情報 — 前期比

(億円)

	売上高			営業利益		
	2017年度 予想	2016年度 実績	増減	2017年度 予想	2016年度 実績	増減
アルミナ・化成品、 地 金	1,070	1,018	+52 (+5.1%)	90	101	△11 (△11.1%)
板、押出製品	990	982	+8 (+0.9%)	80	78	+2 (+2.9%)
加工製品、 関連事業	1,670	1,547	+123 (+8.0%)	110	102	+8 (+7.4%)
箔、粉末製品	970	937	+33 (+3.5%)	55	55	±0 (+0.4%)
管理・共通	—	—	—	△35	△34	△1
合 計	4,700	4,484	+216 (+4.8%)	300	302	△2 (△0.7%)

アルミナ・化成品、地金

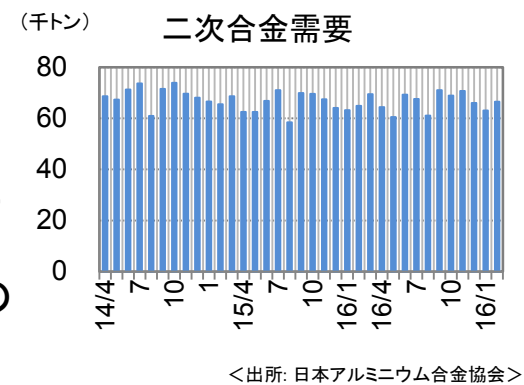
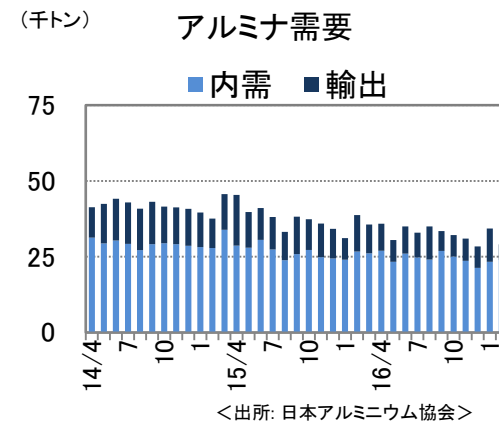


アルミナ・化成品

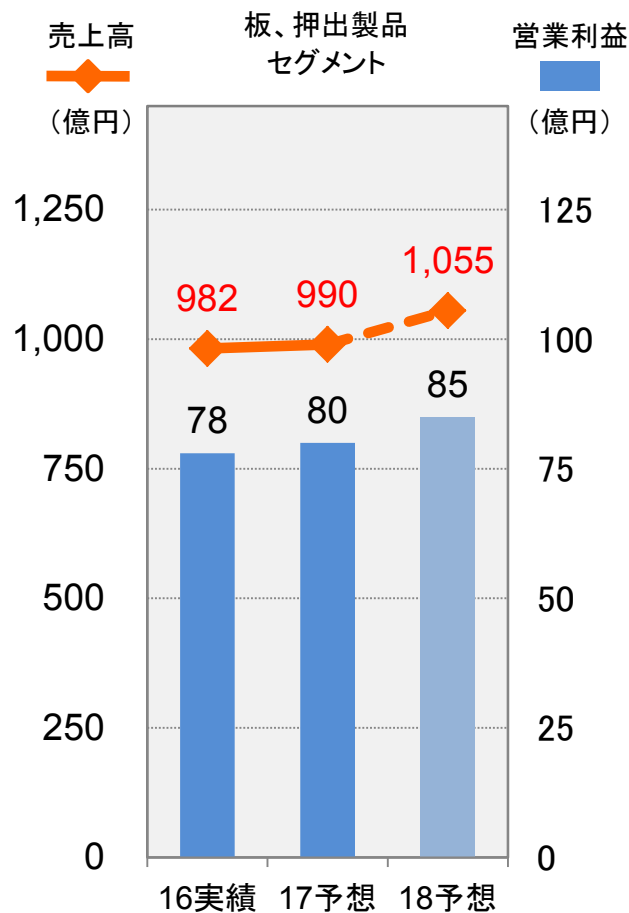
- ファインセラミックス用途、LiB用および排ガス浄化用途向けローソーダアルミナ・水酸化アルミニウムを拡販
- 高付加価値無機製品の医療用途、半導体製造装置用途向けの拡販

日軽エムシーアルミ

- 国内は自動車軽量化ニーズにより拡販
- 中国・アメリカは開発合金の拡販によりマーケット開拓に注力
- タイは第2工場のフル稼働体制への早期移行により東南アジア・インド市場へのハブ機能を強化



板、押出製品

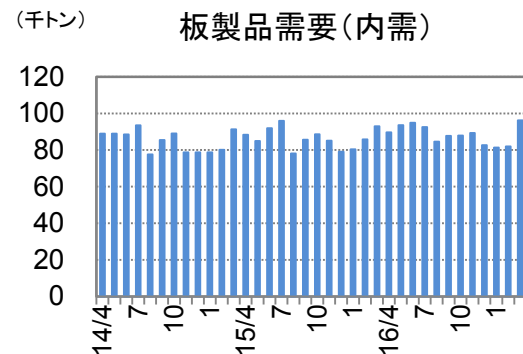


板

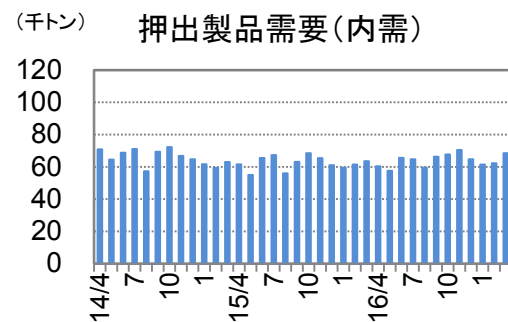
- 半導体製造装置向け等厚板の好調継続
- 自動車・鉄道向け拡販
- 短納期・多品種・小ロット等、顧客ニーズへの細かい対応による拡販を継続

日軽金アクト

- 国内トラック架装向けの高水準
- EV・PHEV向けバッテリー冷却プレートの拡大
- 海外拠点収益力強化

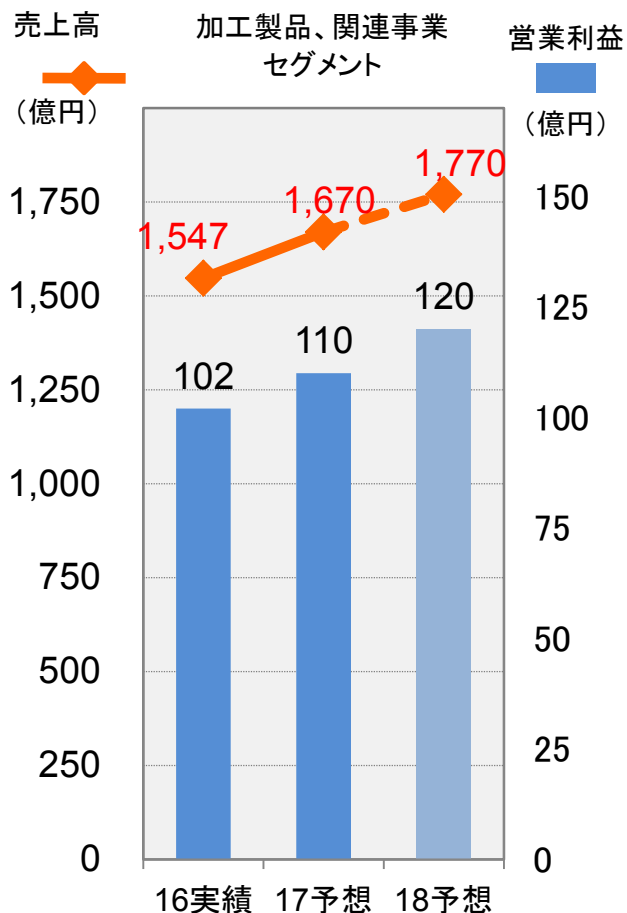


<出所: 日本アルミニウム協会>



<出所: 日本アルミニウム協会>

加工製品、関連事業



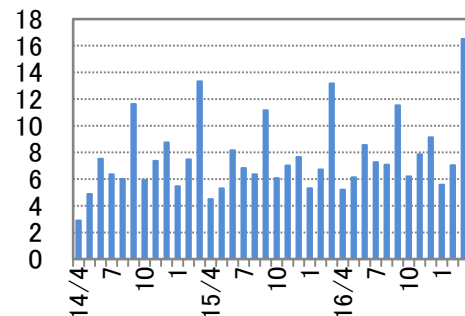
日本フルハーフ

- 一般貨物の物流量の増加が続き、国内トラック需要好調
- 厚木工場再構築により品質、生産性を向上
- タイでは10ドアバン・10ドアキットの拡販
- 日軽パネルとの共同でASEAN地域でのコールドチェーンビジネス展開

日軽パネルシステム

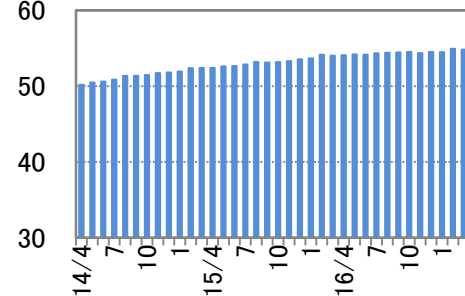
- 通販事業の拡大に伴う物流拠点の増加、HACCP対応の食品工場の増加など、需要増加が見込まれる
- 耐震天井やデータセンター事業などの新事業の拡充を図る
- 日本フルハーフとの共同でASEAN地域でのコールドチェーンビジネス展開

(千台) 普通トラック登録台数



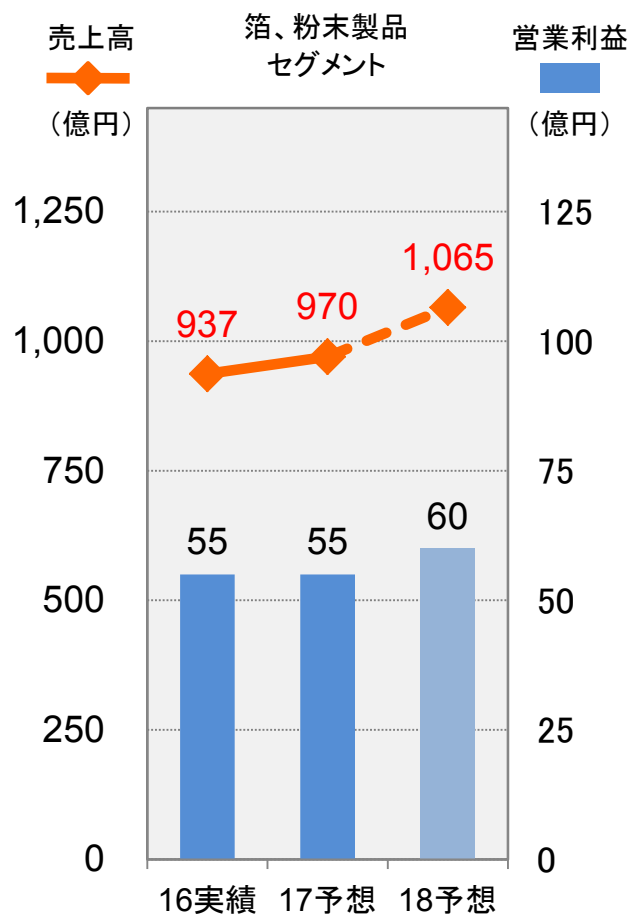
<出所: 日本自動車販売協会連合会>

(千店) コンビニ店舗数



<出所: 日本フランチャイズチェーン協会>

箔、粉末製品



東洋アルミニウム

<箔事業>

- トーヤルロータス、トーヤルウルトラロータス等新規製品の拡販
- トーヤルカーボや粉末積層箔等独自製品の拡販

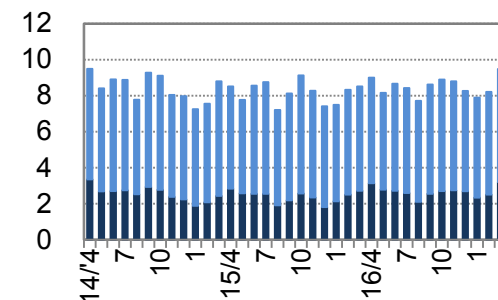
<パウダー・ペースト事業>

- 窒化アルミ等高付加価値品の拡販
- インド新会社の生産開始によりインド市場での拡販とアセアン・中東・アフリカでの販売数量増加

<ソーラー事業>

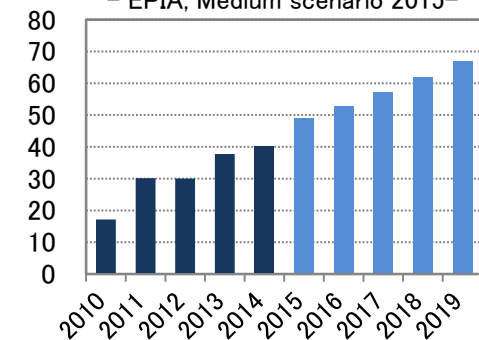
- 次世代型太陽電池向け製品の拡販
- 軽量モジュールの立ち上げ

(千トン) 箔製品需要
■ コンデンサ箔 ■ その他の箔



<出所: 日本アルミニウム協会>

(GW) 太陽電池需要予測
- EPIA, Medium scenario 2015 -



<出所: European Photovoltaic Industry Association>

主要会社の業績 – 前期比

(億円)

	2017年度 予想			2016年度実績		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属 (単体)	1,283	28	57	1,263	59	95
東洋アルミニウム (連結)	979	54	56	942	55	56
日軽エムシーアルミ (連結)	586	24	24	554	25	27
日本フルハーフ (連結)	742	41	40	668	36	35
日軽金アクト (連結)	446	22	24	433	25	26